千代田区障害者就労支援センター通信
ちよだジョブコーチジャーナル
働くことを応援する
No.73

「働く 羽ばたく 千代田」

雇用率 2.7%の現状と対策～企業の取り組みと定着支援～











令和８年度　障害者就労支援フォーラム

令和８年10月８日、障害者就労支援フォーラムが開催されました。毎年、障害者就労に携わる方々をお招きし講演いただいています。今回は、「雇用率2.7%の現状と対策」というテーマで、企業の取り組みと定着支援についてお話いただきました。積極的な質疑応答、名刺交換で大いに盛り上がりました。また、今回は、開催案内チラシのデザインコンペを実施し、参加作品12作品の展示と、最優秀賞、優秀賞の表彰式を行いました。

● 企業における障害者就労の取り組み



第１部では出光興産株式会社 人事部 DE ＆ I 推進室 障がい者就労推進グループ 柳田 賢志 氏にご登壇いただきました。特例子会社を持たず本社や事業所内にて社内の各業務を担う「チーム就労」体制を構築し、法定雇用率の達成を目指すだけでなく、社内の各部署で障害のある方が働ける環境を整えながら、役割を持って働き続けられる仕組みづくりを重視されていると説明していただきました。障害のある方を戦力化していきたいという人財戦略は、会社の経営方針でもあり、量から質へ、人財として育成を目指したいと話されました。また、障害者雇用の現状や、採用前の職場実習によるマッチング、業務の切り出し、チームでの働く環境づくり、職場定着に向けた取り組みについて、自身の中小規模企業での勤務経験も踏まえこれから障害者就労に取り組まれていく企業の目線にて、具体的な事例を交えてお話しいただきました。障害のある方の活躍推進を明確に掲げ、就労機会の拡大に取り組んでおり、一人ひとりが能力や個性を発揮できるように、本人の特性や能力に応じた業務の設定に加え、職場内の理解や協力を得ながら、チームで支える体制を整えることの重要性が示されました。

● 障害者就業支援事業について



第2部では公益財団法人東京しごと財団 総合支援部 障害者就業支援課 統括障害者雇用ナビゲーター 萩原 浩司 氏にご登壇いただきました。企業が障害者雇用に取り組めるような制度について説明いただきました。都内の企業で特に障害者雇用の経験が少ない企業に向けて、雇用の準備から採用後の定着までを一貫して支える事業を展開しています。企業ごとの状況を確認し、受入体制の整備や職場での定着までを支援し、支援機関と連携しながら、企業の不安を減らし、障害のある方が働きやすい環境づくりをサポートしているとのお話がありました。また、企業と支援機関が連携し、採用から職場定着まで継続的に支援していくことの重要性について説明していただきました。



第３部では、名刺交換会とデザインコンペの総合評価と表彰式を行いました。デザインコンペは区内の就労支援事業所の利用者から12作品の応募があり、その中から最優秀賞に1作品、優秀賞に2作品が選ばれました。受賞された利用者の方には会場にお越しいただき、表彰状の授与と作品への思いや受賞した感想をお話しいただきました。当日、会場には受賞作品含め、チラシのデザイン作品12点を展示しました。

障害者雇用の促進と職場定着には、企業内での理解や協力体制の構築に加え、企業が利用できる支援制度を活用し、支援機関と継続的に連携していくことが重要であることを学ぶ機会となりました。

（構成：植村、村田）

令和８年度障害者就労支援事業所合同説明会を開催しました

令和8年度第3回ネットワーク連絡会では「令和8年度 障害者就労支援事業所合同説明会」を開催しました。
当日は、就労移行支援・就労継続支援・自立訓練(生活訓練)の29事業所が、相談ブースを設けて設置しました。会場には66名の方にご来場いただき、各ブースに平均して10名程度の来訪がありました。各事業所からは、支援内容や特色についての説明・相談が行われ、就労支援に関する理解を深める機会となりました。

また、合同説明会の開催にあたり「就労移行支援事業所からの就労による定着支援」をテーマに、YORISOU社会保険労務士法人の松山氏、秋元氏、当事者の立場から笹川氏にもご講演いただきました。
講演では、採用前から一貫して大切にしてきた「心理的安全性」をキーワードに、「ここにいていいよ」「間違っても嫌いにならない」というメッセージを伝え続けることの重要性についてお話しいただきました。障害のある方が安心して働き続けるためには、採用だけでなく就職後も本人に寄り添い、安心して働ける環境をつくることが大切であることを学ぶ機会となりました。

講演後には、聴講された参加者（企業様、支援機関様）が各事業所のブースを訪れ、支援内容や企業との連携について情報交換する姿が見られました。講演で得た学びをきっかけに、企業様と事業所が直接対話し、互いの役割や支援の取り組みを知ることで、今後の就労支援における連携につながる交流が生まれました。

今回の合同説明会は、企業様が千代田区内の就労支援事業所を知ることで、採用から職場定着に向けた相談ができる、関係づくりの第一歩となりました。
今後も、企業様と事業所が互いの強みや課題を共有し、障害のある方の採用から職場定着までを、支え合えるネットワークづくりを進めていきます。



就労継続支援Ｂ型事業所　東京リバノス

東京リバノスは、一人ひとりに合った働き方を大切にする就労継続支援Ｂ型事業所です。軽作業やパソコン作業など、希望や得意なことに合わせたお仕事をご用意しています。パソコン作業は在宅での利用も可能です。
工賃は作業内容にかかわらず、1 時間あたり一律 1,000 円です。
スタッフが一人ひとりのペースに寄り添い、安心して作業に取り組める環境を整えています。
見学・ご相談もお気軽にお問い合わせください。



(住所) 千代田区岩本町 2-16-5 TUC ビル 4F
(受付時間）10:00 ～ 17:30 (月～日曜日)
(電話・FAX）03-5829-9570
(HP) https://libanos.jp/
(最寄り駅)
都営新宿線「岩本町駅」徒歩 5 分、JR 総武線快速「馬喰町駅」徒歩 6 分、JR 総武線「秋葉原駅」徒歩 7 分

就労移行支援事業所　アドバンテッジ リワーク＆ジョブセンター神田

当センターは、休職中の方の復職支援と就職支援を行っています。認知行動理論に基づくプログラムを通じて、再休業予防や安定した就労継続をサポートします。
最短 3 週間から利用可能で、お一人おひとりの状況に応じた支援を実施。また、ご本人の同意のもと企業との連携も積極的に行い、安心して復職・就職を目指せる環境を提供しています。





(住所) 千代田区東神田 2 丁目 5-12　龍角散ビル 1 階
(受付時間）9:00 ～ 17:00（土日祝・年末年始除く）
(電話) 03-4213-1280
(HP) https://www.armg.jp/business/advantage-reworkandjobcenter-p/
(最寄り駅）
JR 総武線快速「馬喰町駅」都営新宿線「岩本町駅、馬喰横山駅」徒歩 5 分
JR 総武線「浅草橋駅」、東京メトロ日比谷線・JR 総武線「秋葉原駅」徒歩 7 分



就労支援のお問い合わせ

電話：03-3264-2153　FAX：03-3556-1223
E-mail：chiyoda.syuroushien@city.chiyoda.lg.jp
HP：https://chiyoda.syuroushien.jp/
〒 102-8688 千代田区九段南 1-2-1　千代田区役所 3 階

発行：千代田区障害者就労支援センター　第 73 号（令和 8 年 11 月 1 日発行）
取材内容：令和８年度千代田区障害者就労支援フォーラム「働く、羽ばたく、千代田」
毎回、働く障害のある方やその職場を紹介していきます。次号もご期待下さい。